

なでしこ、初戦勝利

1次リーグ 女子W杯、スイス戦 1-0



スイスに勝利し、喜ぶサッカー女子日本代表＝8日、カナダ・バンクーバー（共同）



発行所
山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023 (622) 5271

Copyright (c) 2015
Yamagata Shimbun

2015年
6月9日
〈火曜日〉

速電
報版子

やましん e聞

特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

【バンクーバー（カナダ）共同】サッカーの女子ワールドカップ（W杯）カナダ大会で日本代表「なでしこジャパン」は8日、バンクーバーで行われた1次リーグC組初戦でスイスを1-0で下した。2011年の前回大会で初優勝を果たし、2連覇を目指す大会で好スタートを切った。

36歳の澤穂希（INAC神戸）はW杯6大会連続、国際Aマッチ通算200試合目の出場を果たし、通算150試合目の宮間あや（岡山湯郷）が先制のPKを決めた。日本は12日（日本時間13日）にカメルーンと1次リーグ第2戦、16日（同日）にはエクアドルと最終戦を戦う。

澤、初の6大会出場

36歳の澤が守備的MFとして先発し、男女を通じて初のW杯6大会出場を果たした。前回大会の最優秀選手で

得点王。好機とみれば中盤からゴール前に飛び出すなどし、守備でも体を張った。後半10分すぎに交代したが、ベンチに退く際には佐々木則夫監督（尾花沢市出身）と笑顔で言葉をかわしていた。15歳で代表デビューし、積み重ねた試合数はこの日でちょうど200に到達した。最後のW杯と覚悟し「やりきった大会にしたい」と話す。チームの大黒柱として、再び頂点を目指す戦いが始まった。（共同）